

基本理念
① 日本を理解し、伊勢の“常若の精神”を理解してもらう
② さまざまな人が安全に安心して楽しめるまち
③ 訪れる人が満足のできるまち
④ 住む人も満足ができるまち
⑤ 観光を通じて経済的効果を高める

「次期式年遷宮の年(2033年)における伊勢のありたい姿」  
 住む人と訪れる人がおかげさまの心を通じて交わるまち 常若の精神を未来へ受け継ぎ、若々しく瑞々しいまち

「4年後(2025年度)の伊勢市のありたい姿」  
 多様な主体を受け入れ、常若の精神とにぎわいにあふれるまち

基本方針	具体的方針	令和7年度の主な取り組み	
<b>基本方針1</b> 「神宮を中心とした物語性」の発掘・展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 SDGsに基づく持続可能な観光振興の観点から神宮や関連資源の再認識</li> <li>2 市民(内)と来訪者(外)の視点を生かした魅力ある地域資源の発掘・磨き上げ</li> </ul>	奉曳団への支援	『The Study of ISE』ブランディング戦略事業
<b>基本方針2</b> ターゲット別 PR 戦略と関係人口の確保・創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 ターゲット・目的にあわせた戦略的な情報発信</li> <li>2 観光情報を効果的に届ける仕組み・体制の強化</li> <li>3 常若の精神でつながる関係人口の確保・創出</li> </ul>	地域観光魅力向上事業	遷宮をキーワードとした旅行商品の造成及び流通促進
<b>基本方針3</b> 産業視点での観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 マーケティングの視点で伊勢市を訪れる観光客等の実態の把握・分析</li> <li>2 地域資源の開発・磨き上げと周遊・滞在・消費の促進</li> <li>3 地域における連携の推進</li> <li>4 スポーツイベントの企画や合宿など誘致</li> </ul>	公共交通機関タイアップ誘客キャンペーンの推進	ラジオ放送等を活用した情報発信事業
<b>基本方針4</b> 安全・安心な受入環境・受入基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 観光危機管理に配慮した受入環境の構築</li> <li>2 心地よい受入環境・受入基盤の整備</li> <li>3 満足度を高める交通対策の推進</li> <li>4 多様な主体を受け入れる環境の整備</li> </ul>	高付加価値なインバウンド観光地づくり	観光協会との共同 HP による情報発信
<b>基本方針5</b> 「共生と競争」の視点での連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 国や県、伊勢志摩地域全体で連携した誘致・受入の推進</li> <li>2 歴史、文化、自然などの伊勢志摩地域の地域資源の活用と連携</li> </ul>	外国人短期留学生招聘及び情報発信事業	伊勢市観光協会との協働事業
<b>基本方針6</b> 市民・地域の「おかげさまの心」の醸成と連携の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 来訪者を笑顔で迎え入れる市民の意識醸成</li> <li>2 次期式年遷宮へとつながる観光推進体制の充実</li> </ul>	観光客実態調査	インバウンドに関する動態調査
		旅先納税	サイクルルート策定調査
		まちなかウォークブルの推進	DMO 会議
		スポーツ・MICE 補助金	伊勢神宮奉納全国花火大会
		年末年始雑踏対策	宇治防災倉庫の整備
		観光案内所の運営管理	案内看板や施設等の維持管理
		自動運転バス実証実験	参宮バス運行
		バリアフリー観光の推進	共同パンフレットの作成
		伊勢志摩観光コンベンション機構への参画	伊勢熊野観光連絡協議会等と連携した情報発信
		伊勢志摩国立公園の振興	観光ガイドの育成
		地域おこし協力隊	ふるさと学習事業
		お木曳行事に向けたまち全体の機運醸成	おもてなし研修